

芸術工学部：工業設計学科

【卒業要件：124単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として（イ）～（ホ）に従い、36単位以上を修得する。

（イ）教養教育科目では、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

コア教養科目の「人間と文化」、「文芸と人間」、「歴史の認識」の中から1科目2単位以上、

コア教養科目の「異文化の理解」、「現代の政治と法」、「現代の社会と経済」の中から1科目2単位以上、

コア教養科目の「地球と生命」、「数理と情報」、「物質の世界」の中から1科目2単位以上を修得する。

なお、コア教養科目の「医療と福祉」、「芸術とテクノロジー」については、1科目2単位に限り、コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

さらに、上記で修得した科目を除くコア教養科目および六本松地区で開講する個別教養科目の中から4単位以上を修得する。

（ロ）言語文化科目Ⅰでは、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化科目Ⅰの英語科目として、「学術英語A」、「学術英語B」が2年次後期以降に大橋地区で開講される。

（ハ）健康・スポーツ科学科目Ⅰでは、「健康・スポーツ科学講義」、「健康・スポーツ科学実習」を修得する。

（ニ）基礎科学科目Ⅰでは、必修科目5単位と選択必須科目の中から7単位の計12単位を修得する。

なお、選択必須科目の中で次の科目を履修することが望ましい。

「微分積分B」、「線形代数B」、「電磁気学基礎」、「細胞生物学」

（ホ）情報処理科目Ⅰでは、「情報処理基礎演習」を修得する。

2. 専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて68単位以上を修得する。

3. 芸術工学部の卒業要件として、上記1および2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により20単位以上を修得する。

なお、上記の20単位のうち4単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

また、芸術工学部において開講する他学科専攻教育科目のうち、総合選択履修として認められるのは10単位までである。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに以下の条件【A】または【B】を満たしておかなければならない。

【A】上記1の卒業要件のうち次の全学教育科目の34単位中32単位および総合選択履修6単位を修得すること。

教養教育科目	10単位
言語文化科目Ⅰ	8単位（上記1の卒業要件のうち学術英語A、学術英語Bの計2単位を除く）
健康・スポーツ科学科目Ⅰ	3単位
基礎科学科目Ⅰ	12単位
情報処理科目Ⅰ	1単位

【B】修得単位数が70単位以上であること。

ただし、【A】または【B】の条件を満たせば、学年途中であっても3年次以降に開設される専攻教育科目を履修できる。

履修細目一覧（ 芸術工学部：工業設計学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キャンパス			
		科目区分毎の 単 位 数	総合選択 履修方式	合 計				
全 教 育 学 科 目	コア教養科目	人間と文化(2) 文芸と人間(2) 歴史の認識(2) 異文化の理解(2) 現代の政治と法(2) 現代の社会と経済(2) 地球と生命(2) 数理と情報(2) 物質の世界(2)	医療と福祉(2) 芸術とテクノロジー(2) ※1	2単位 2単位 2単位	10単位	六本松		
		上記で修得しなかったコア教養科目		4単位				
		個別教養科目	六本松キャンパスで開講する科目					箱崎 病院 大元
		箱崎, 病院, 大橋, 元岡キャンパスで開講する科目					20単位 ※3	
		言語文化科目Ⅰ※2	第1外国語 第2外国語	6単位 4単位				
	健康・スポーツ科学科目Ⅰ	健康・スポーツ科学講義(2) 健康・スポーツ科学実習(1)	2単位 1単位					
	基礎科学科目Ⅰ	【必修科目】 微分積分A(1.5), 線形代数A(1.5), 数理統計(2)	5単位					
		【選択必修科目】 上記の必須科目以外の基礎科学科目Ⅰから履修すること。 (推奨科目) 微分積分B(1.5), 線形代数B(1.5), 電磁気学基礎(2), 細胞生物学(2)	7単位					
	情報処理科目Ⅰ	情報処理基礎演習(1)	1単位			六本松 箱崎 病院 大元		
	言語文化科目Ⅱ							
健康・スポーツ科学科目Ⅱ								
基礎科学科目Ⅱ								
情報処理科目Ⅱ								
外国語コミュニケーション科目								
他専攻の専攻教育科目				※4				
専 攻 教 育 科 目	低年次	入門科目 芸術工学入門(2)		68単位	大橋			
	(第1学期)							
	(第2学期)	芸術工学部学生便覧を参照すること。						
	(第3学期)							
第4学期以降	芸術工学部学生便覧を参照すること。							

※1 「医療と福祉」, 「芸術とテクノロジー」については, 1科目2単位に限り, コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 言語文化科目Ⅰの英語科目として, 「学術英語A」(1), 「学術英語B」(1)が2年次後期以降に開講される。

※3 総合選択履修方式の20単位には, 科目区分毎の最低修得単位数分として履修した科目を除いて履修すること。総合選択履修方式において, 3年次以降に4単位以上履修することが望ましい。

※4 総合選択履修には, 芸術工学部において開講する他学科専攻教育科目のうち10単位まで含めることができる。